

報道関係 各位

広島経済大学
入試広報センター

「興動館プロジェクト」10月行事予定のお知らせ

広島経済大学（学長 小谷 幸生）の興動館プロジェクトにおける、10月の主な行事予定をご案内いたします。

	プロジェクト名	開催日	イベント名
1	インドネシア国際貢献プロジェクト	10/16（火）	インドネシア夏渡航報告会
2	学生FDプロジェクト	10/15（月）	しゃべり場
3	動物のかけがえのない命を守ろうプロジェクト	10/13（土）	動Pセミナー
4	若旅促進プロジェクト	10/19（金）～ 10/21（日）	朝鮮通信使 パレード参加
5	食育推進プロジェクト	10/13（土）	魚市場見学ツアー
6	カンボジア国際交流プロジェクト	10/26（金）	カンボジア夏渡航報告会

興動館プロジェクトとは…

「国際交流」「社会貢献」「地域活性」「経済活動」などに関わるプロジェクト活動の準備・実行はもちろん、企画、交渉、予算管理、報告・発表などの全般について、学生が主体的に取り組んでいる。多様な人間とともに何かを達成する過程の中で、実社会で必要な人間力を養い、「ゼロから立ち上げる」興動人*として活躍する人材を育成する。

※「ゼロから立ち上げる」興動人とは…

既存概念にとらわれない斬新な発想と旺盛なチャレンジ精神、そして仲間と協働して何かを成し遂げることのできる力を備えた人材。

◆ 各プロジェクトの紹介文は本プレス、最終頁にあります ◆

※お問い合わせ、ご取材の向きは、事前に以下までご一報下さいますようお願い申し上げます。
(記事の内容について) 広島経済大学 興動館^{こうどうかん}スタッフ TEL (082) 832-5010
(取材の依頼について) 広島経済大学 入試広報センター 山本・足立・住本・高田・藤永 TEL (082) 871-1313

1. インドネシア 夏渡航報告会

- ①イベント名：インドネシア 夏渡航報告会
- ②日 時：10月16日（火） 18：30～20：00
- ③場 所：広島経済大学 明德館 7階 プレゼンテーションコート
- ④内 容：9月にインドネシアで行った現地活動について報告する
- ⑤プロジェクト名：インドネシア国際貢献プロジェクト

2. 第10回 しゃべり場

- ①イベント名：第10回 しゃべり場
- ②日 時：10月15日（月）16：55～18：20
- ③場 所：広島経済大学 明德館5階
- ④対 象：本学学生および教職員
- ⑤目 的：大学に関するテーマについて語り合いながら学生と教職員が交流を深める。
- ⑥内 容：参加者を小人数のグループに分け、自己紹介の後「利用しやすい明德館とは」をテーマにグループ内ディスカッションを行う。
- ⑦プロジェクト名：学生FDプロジェクト

3. 動Pセミナー

- ①イベント名：動Pセミナー
- ②日 時：10月13日（土）13：00～17：00
- ③場 所：明德館7階 プレゼンテーションコート
- ④対 象：動物のかけがえのない命を守ろうプロジェクトメンバー、広島文教女子大学 アニマルハッピープロジェクトメンバー、SPICAの方々
- ⑤目 的：他団体との関連を深め、ボランティア活動の質を高める。
- ⑥内 容：動物愛護に関する課題について意見交換を行う。同時に動物愛護についての知識も習得する。
- ⑦プロジェクト名：動物のかけがえのない命を守ろうプロジェクト

4. 朝鮮通信使 パレード参加

- ①イベント名：朝鮮通信使 パレード参加
- ②日にち：10月19日（金）～10月21日（日）
- ③場 所：呉市下蒲刈
- ④目 的：朝鮮通信使についての理解を深める
- ⑤内 容：韓国の嶺南大学の学生と、興動館や県民の浜に宿泊し、朝鮮通信関連の博物館の見学・朝鮮通信使パレードに参加する。また、日本の文化に触れてもらえる文化体験の実施。BBQやディスカッションなどを行い、交流を深める。
- ⑦プロジェクト名：若旅促進プロジェクト

5. 魚市場見学ツアー

- ①イベント名：魚市場見学ツアー
- ②日 時：10月13日（土） 4：00～8：00（早朝実施）
- ③場 所：広島市中央卸売市場
- ④対 象：広島市内の大学生
- ⑤目 的：若者の魚離れという問題を背景として、若者に魚に興味を持ってもらい、日々の食事に積極的に魚を取り入れてもらうことを目的とする。
- ⑥内 容：セリ見学、模擬競り、加工場見学をし、魚に興味を持ってもらう。
- ⑦プロジェクト名：食育推進プロジェクト

6. カンボジア 夏渡航報告会

- ①イベント名：カンボジア 夏渡航報告会
- ②日 時：10月26日（金） 18：30～20：30
- ③場 所：広島経済大学 興動館 3階 ゼミ室 33.34
- ④内 容：9月にカンボジアで行った現地活動について報告する
- ⑤プロジェクト名：カンボジア国際交流プロジェクト

【参考資料：学生作成ポスター】



学生FDプロジェクト

<インドネシア国際貢献プロジェクト>

「フェアトレードを通じてナーウェン（貧困地区）の人たちの生活を向上させる」をミッションに、グヌンキドゥル地方ナーウェン県の伝統工芸品である「テヌンルーリック」という布を使用したオリジナル商品を開発し、日本で販売を行う。将来的にはフェアトレードを通じたビジネスモデルを確立し、インドネシアのその他の地域にも広めることによって、貧困問題の解決を目指す。

<学生FDプロジェクト>

学生が学ぶことの楽しさを体感できるような興動館科目※を創ることで、意欲的に授業に参加し、能動的に勉強する学生を増やすことを目的に活動。「スポーツで学ぶ共生力」という、全国初の学生が創った科目を立ち上げた。今後も、学ぶことの楽しさや充実感を感じるような新科目を、学生の声を聞きながら、教員とともに創造していく。

※興動館科目…実践を通して知識やスキルを身に付ける興動館科目は、すべての学生が自由に選択できる科目群で、卒業単位にも含まれる。学問領域ではなく、人間力を身に付けるために必要な「元気力」「企画力」「行動力」「共生力」で科目を分類している。

<動物のかけがえのない命を守ろうプロジェクト>

平成23年に広島県における犬・猫の殺処分数が全国ワースト1位を記録したことを受け、この現状を広島県民に広く知らせることで、人と動物が良好な関係を築きながら共生できる社会の実現をめざすことを目的に、平成27年に結成。広島県内で捨てられた犬や猫の現状を知ってもらうことに着目し、フラワーフェスティバルにおける広報活動をはじめ、広島市動物管理センターでは引き取り手のいない動物の世話をするボランティア活動に携わっている。

<若旅促進プロジェクト>

旅には新しい経験や価値観を見出し、自分自身を成長させる魅力があるが、最近若者の旅離れが問題となっている。若者のニーズに合ったツアーを企画立案し、ツアーを通じて参加者の視野を広げ、豊かな人生を送ってもらうことを目的に活動している。

<食育推進プロジェクト>

アルバイトや夜型生活等の生活リズムの乱れによる朝食を取らない、料理を作らない、食べることに関心がない、等の食に関する重要性や関心が薄れている学生が増加傾向にある。そこで、大学生を対象にした食育推進活動を行い、意識の向上を図っている。

<カンボジア国際交流プロジェクト>

ポル・ポト派の大量虐殺により、多くの教員、知識人を失ったカンボジア王国では、現在でも教員や教科書などの不足といった問題を抱えている。こういった教育問題に着目し、戦後の日本、広島の復興のプロセスを記した副読本を制作し、現地で配付することで、カンボジアの未来を担う子ども達に夢や希望を持ってもらい、広島・日本の過去を真似るのではなく、自分たちなりの復興の過程、未来のカンボジアの姿を考えてもらうため、活動を行っている。